

津地区的景況調査

令和7年上期実績と令和7年下期見通し
(令和7年7月調査)

津商工会議所中小企業相談所

もくじ

I 調査概要	1
II 調査結果	4
1 現状と来期の見通し	4
2 売上状況と来期の見通し	6
3 利益状況	8
4 販売条件と仕入条件	9
5 設備投資	1 1
6 資金繰りの動向	1 1
7 借入の動向	1 3
8 借入予定、借入希望先、借入資金の使途予定	1 3
9 経営上の問題点	1 5
■ 景況調査票	

I 調査概要

- 1 調査目的 本調査は、津地区企業の景況を調査し、その動向を分析して地域事業所の経営に役立つ資料を提供することを目的とする。
- 2 調査対象 津商工会議所会員でFAX登録されている企業1,597社を対象に調査を実施した。
- 3 調査方法 FAX送付によるアンケート方式
- 4 調査期間 令和7年7月1日～同月11日
- 5 調査対象期間 令和7年上期（1月～6月）実績と令和7年下期（7月～12月）見通し
- 6 回収集計数 回収集計数企業 215社（回収率 13.46%）
うち小規模企業 134社
- 7 調査機関 津商工会議所中小企業相談所

[D I =Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) とは]

本文のD Iとは、景気動向を示す指標で、調査時点における企業の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、とくに言及のない限り、前期に比べて「増加」「好転」したとする企業の割合から「減少」「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

[B S I = (Business Survey Index (ビジネス・サーベイ・インデックス) とは]

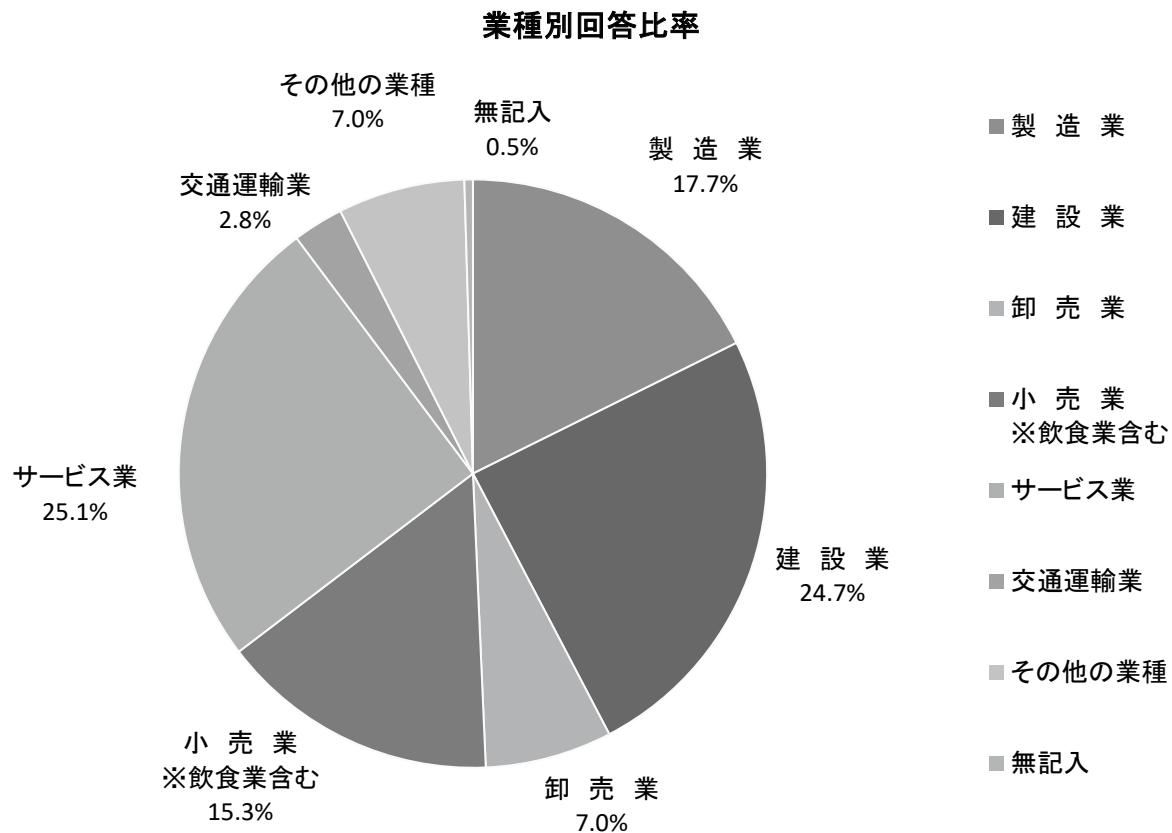
本文のB S Iとは、景気動向を示す指標で、調査時点における企業の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、とくに言及のない限り、前期に比べて「増加」「好転」したとする企業の割合から「減少」「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値を2で割った値である。

（注）図表中の数値表示について

図表中の数値については小数点以下第2桁で四捨五入をしているため、合計が100.0にならない場合がある。

なお、図-2及び図-4は三重県内の小規模企業を対象とした調査数値である。

回答状況



業種別従業員規模

(単位：上段－企業数・下段－%)

	0～5人	6～20人	21～50人	51～100人	101人以上	無記入	計
全産業	103	49	31	19	13	0	215
	47.9	22.8	14.4	8.8	6.0	0.0	
製造業	10	12	3	8	5	0	38
	26.3	31.6	7.9	21.1	13.2	0.0	
建設業	31	12	10	0	0	0	53
	58.5	22.6	18.9	0.0	0.0	0.0	
卸売業	5	3	5	2	0	0	15
	33.3	20.0	33.3	13.3	0.0	0.0	
小売業 ※飲食業含む	21	3	4	1	4	0	33
	63.6	9.1	12.1	3.0	12.1	0.0	
サービス業	23	12	8	7	4	0	54
	42.6	22.2	14.8	13.0	7.4	0.0	
交通運輸業	1	3	1	1	0	0	6
	16.7	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0	
その他の業種	11	4	0	0	0	0	15
	73.3	26.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
無記入	1	0	0	0	0	0	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

全 産 業 D I

	業況判断	売 上	利益状況	販売条件	仕入条件	資金繰り
令和6年1月～6月 実績	▲ 15.9	▲ 15.1	▲ 25.8	▲ 8.3	▲ 45.6	▲ 10.3
令和6年7月～12月 実績	▲ 19.2	▲ 16.0	▲ 30.5	▲ 10.2	▲ 41.1	▲ 13.3
令和7年1月～6月 実績	▲ 20.5	▲ 9.7	▲ 16.3	▲ 12.1	▲ 43.7	▲ 11.6
令和7年7月～12月 見通し	▲ 26.5	▲ 21.8				▲ 17.2

業 種 別 D I (令和7年1月～6月期)

	業況判断	売 上	利 益	販売条件	仕入条件	資金繰り
製 造 業	▲ 13.1	▲ 2.7	▲ 5.3	▲ 7.9	▲ 36.9	▲ 18.5
建 設 業	▲ 11.3	▲ 1.8	▲ 17.0	▲ 15.1	▲ 39.6	▲ 11.3
卸 売 業	▲ 59.9	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 13.4	▲ 46.7	0.0
小 売 業 ※飲食業含む	▲ 27.3	▲ 15.2	▲ 27.2	▲ 30.3	▲ 78.8	▲ 24.3
サ ー ビ ス 業	▲ 22.1	▲ 3.7	▲ 16.7	▲ 7.5	▲ 33.3	▲ 3.7

II 調査結果

1 現状と来期の見通し（表－1、図－1・2参照）

(1) 現 状

全産業の今期業況判断DIは▲20.5となり、前期▲19.2と比べ、1.3ポイント悪化となった。前期と前々期を比較したマイナス幅(3.3ポイント悪化)より縮小したもの、4期連続で悪化する結果となつた。

業種別では、製造業(▲13.1)・サービス業(▲22.1)で改善となり、建設業(▲11.3)・卸売業(▲59.9)・小売業(▲27.3)で悪化となつた。

小規模企業の全産業においては▲26.1となり、前期▲20.9と比べ、5.2ポイントの悪化となつた。

業種別では、製造業(▲22.7)のみ改善となり、建設業(▲18.5)・卸売業(▲80.0)・小売業(▲38.0)・サービス業(▲34.8)で悪化となつた。

(2) 来期の見通し

全産業の見通しDIは▲26.5となり、今期業況判断DI▲20.5より6.0ポイント悪化する見通しを示している。業種別では、卸売業・サービス業で改善、製造業・建設業・小売業で悪化の見通しとなつた。

小規模企業の全産業においては▲36.6となり、今期業況判断DI▲26.1より10.5ポイント悪化する見通しを示している。業種別では、卸売業で改善、サービス業でほぼ横ばい、製造業・建設業・小売業で悪化の見通しとなつてゐる。

表－1 経営の現状と来期の見通し

	業況判断DI			今期と前期 との比較 (③-②)	見通しDI 来期 ④令和7年 7月～12月	今期と来期の 見通しとの比 較 (④-③)
	前々期 ①令和6年 1月～6月	前期 ②令和6年 7月～12月	今期 ③令和7年 1月～6月			
全 産 業	▲ 15.9	▲ 19.2	▲ 20.5	▲ 1.3	▲ 26.5	▲ 6.0
	▲ 21.4	▲ 20.9	▲ 26.1	▲ 5.2	▲ 36.6	▲ 10.5
製 造 業	▲ 25.5	▲ 25.0	▲ 13.1	11.9	▲ 18.5	▲ 5.4
	▲ 54.5	▲ 33.4	▲ 22.7	10.7	▲ 41.0	▲ 18.3
建 設 業	▲ 3.5	▲ 5.1	▲ 11.3	▲ 6.2	▲ 35.8	▲ 24.5
	▲ 2.2	▲ 4.4	▲ 18.5	▲ 14.1	▲ 34.9	▲ 16.4
卸 売 業	▲ 17.4	▲ 23.8	▲ 59.9	▲ 36.1	▲ 26.6	33.3
	▲ 27.3	▲ 33.3	▲ 80.0	▲ 46.7	▲ 60.0	20.0
小 売 業	▲ 36.1	▲ 17.8	▲ 27.3	▲ 9.5	▲ 42.5	▲ 15.2
	▲ 40.0	▲ 19.2	▲ 38.0	▲ 18.8	▲ 61.9	▲ 23.9
サービス業	▲ 13.6	▲ 26.5	▲ 22.1	4.4	▲ 20.3	1.8
	▲ 33.3	▲ 24.3	▲ 34.8	▲ 10.5	▲ 34.7	0.1

DI=好転(高い)の割合－悪化(低下)の割合

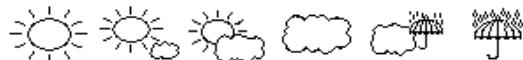
▲はマイナス表示

※下段の値は小規模企業

	業況判断			来期の見通し
	前々期 令和6年1月～6月	前期 令和6年7月～12月	今期 令和7年1月～6月	
	来期 令和7年7月～12月			
全産業	雲	雲	雲	雲
製造業	雲	雲	雲	雲
建設業	雲	雲	雲	雲
卸売業	雲	雲	雲	雲
小売業 ※飲食業含む	雲	雲	雲	雲
サービス業	雲	雲	雲	雲

D I = 好転（良い、やや良い）の割合－悪化（やや悪い、悪い）の割合 ▲はマイナス表示

※表内の景気天気図は各期のD I値により表示
快晴 晴 くもり時々晴 くもり くもり時々雨 雨



D I 値
50以上100 25以上 0 以上 ▲25以上 ▲50以上 ▲100
50未満 25未満 0 未満 ▲25未満 ▲50未満

図-1 津地区の業況判断の推移と来期の見通し

・棒グラフは構成比（%）
・折線グラフはBSI値

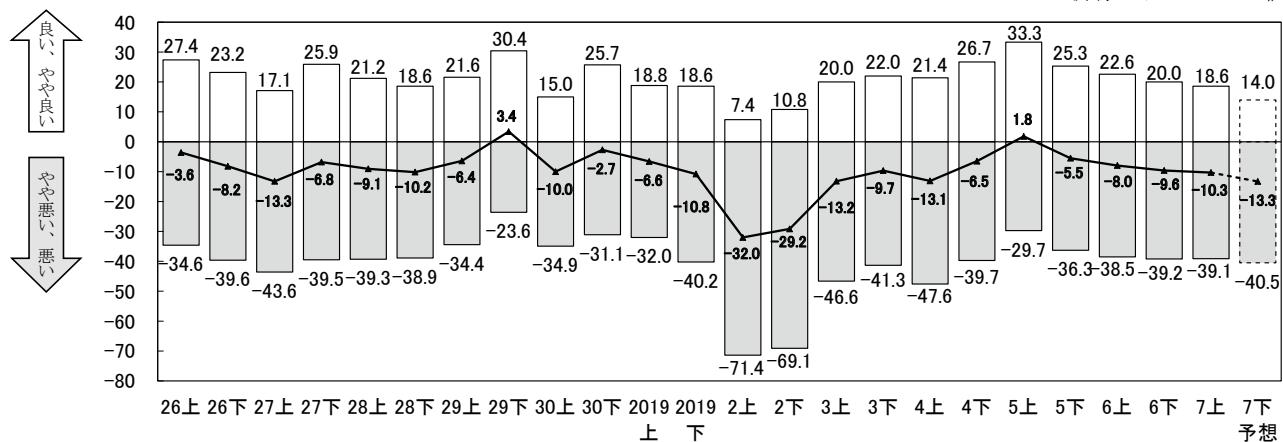
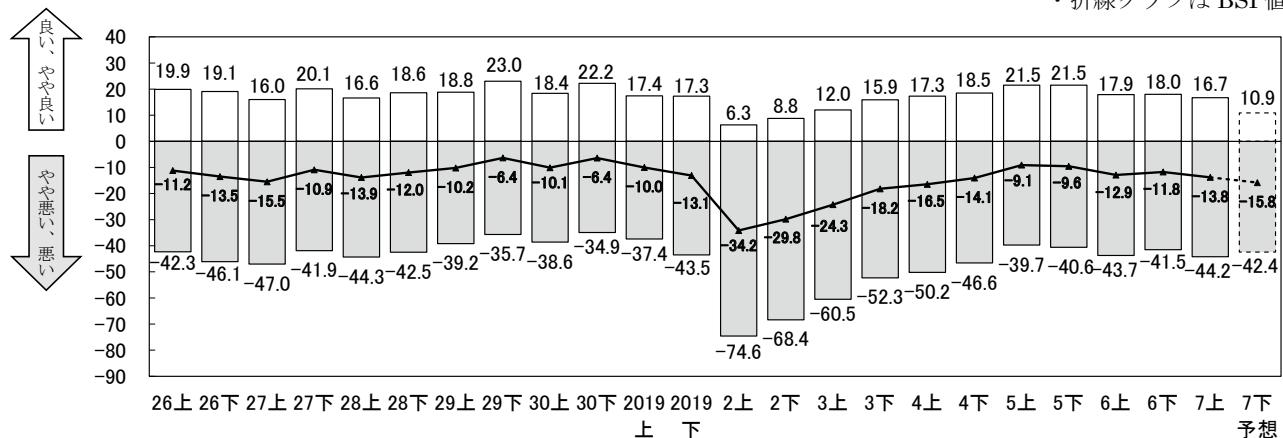


図-2 三重県内の業況判断の推移と来期の見通し

・棒グラフは構成比（%）
・折線グラフはBSI値



2 売上状況と来期の見通し（表－2、図－3・4参照）

(1) 売上状況

全産業の売上DIは、今期▲9.7となり前期▲16.0と比べ、6.3ポイント改善の結果となった。小規模企業では、今期▲18.6と前期▲16.3と比べ、2.3ポイントの悪化となった。

業種別では、製造業・建設業・サービス業で改善、卸売業・小売業で悪化となった。小規模企業では、製造業・建設業で改善、卸売業・小売業・サービス業で悪化となっている。

(2) 来期の見通し

全産業の来期の見通しDIは▲21.8と、今期の売上DI▲9.7と比べ、12.1ポイント悪化の見通しを示している。小規模企業でも、14.3ポイント悪化の見通しを示している。

業種別では、卸売業のみ改善、それ以外の業種で悪化の見通しとなっている。小規模企業でも、卸売業のみ改善、それ以外の業種で悪化の見通しとなっている。

表－2 売上状況と来期の見通し

	売上DI			今期と前期 との比較 (③-②)	見通しDI 来期 ④令和7年 7月～12月	今期と来期の 見通しとの比較 (④-③)
	前々期 ①令和6年 1月～6月	前期 ②令和6年 7月～12月	今期 ③令和7年 1月～6月			
	▲ 15.1	▲ 16.0	▲ 9.7	6.3	▲ 21.8	▲ 12.1
全 産 業	▲ 20.1	▲ 16.3	▲ 18.6	▲ 2.3	▲ 32.9	▲ 14.3
	▲ 23.4	▲ 27.2	▲ 2.7	24.5	▲ 10.5	▲ 7.8
製 造 業	▲ 45.5	▲ 28.6	▲ 9.1	19.5	▲ 36.4	▲ 27.3
	▲ 22.8	▲ 15.5	▲ 1.8	13.7	▲ 24.5	▲ 22.7
建 設 業	▲ 13.6	▲ 15.3	▲ 9.2	6.1	▲ 27.8	▲ 18.6
	▲ 8.7	▲ 19.0	▲ 40.0	▲ 21.0	▲ 26.6	13.4
卸 売 業	▲ 18.2	▲ 33.3	▲ 80.0	▲ 46.7	▲ 60.0	20.0
	▲ 36.2	▲ 8.9	▲ 15.2	▲ 6.3	▲ 39.4	▲ 24.2
小 売 業 ※飲食業含む	▲ 35.0	▲ 11.5	▲ 28.7	▲ 17.2	▲ 52.4	▲ 23.7
	1.7	▲ 15.7	▲ 3.7	12.0	▲ 20.3	▲ 16.6
サービス業	▲ 12.5	▲ 6.1	▲ 21.7	▲ 15.6	▲ 39.1	▲ 17.4

DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

▲はマイナス表示

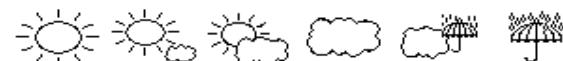
※下段の値は小規模企業

	売上状況			見通し
	前々期 令和6年1月～6月	前期 令和6年7月～12月	今期 令和7年1月～6月	
	来期 令和7年7月～12月			
全産業				
製造業				
建設業				
卸売業				
小売業 ※飲食業含む				
サービス業				

D I = 好転（良い、やや良い）の割合－悪化（やや悪い、悪い）の割合 ▲はマイナス表示

※表内の景気天気図は各期のD I値により表示

快晴 晴 くもり時々晴 くもり くもり時々雨 雨



D I 値

50以上100	25以上 0 以上	▲25以上	▲50以上	▲100
50未満	25未満 0 未満	▲25未満	▲50未満	

図-3 津地区の売上状況の推移と来期の見通し

・棒グラフは構成比 (%)
・折線グラフはBSI値

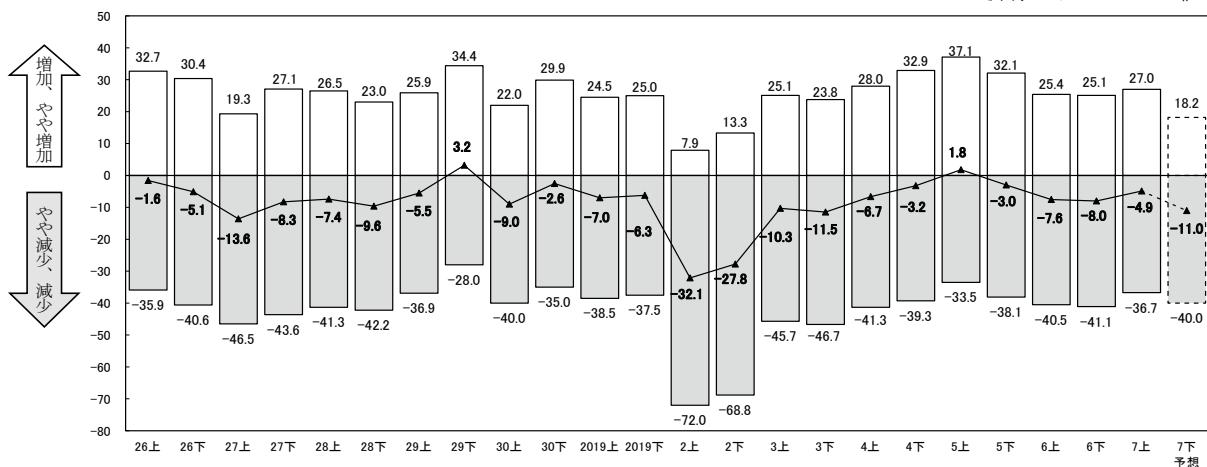
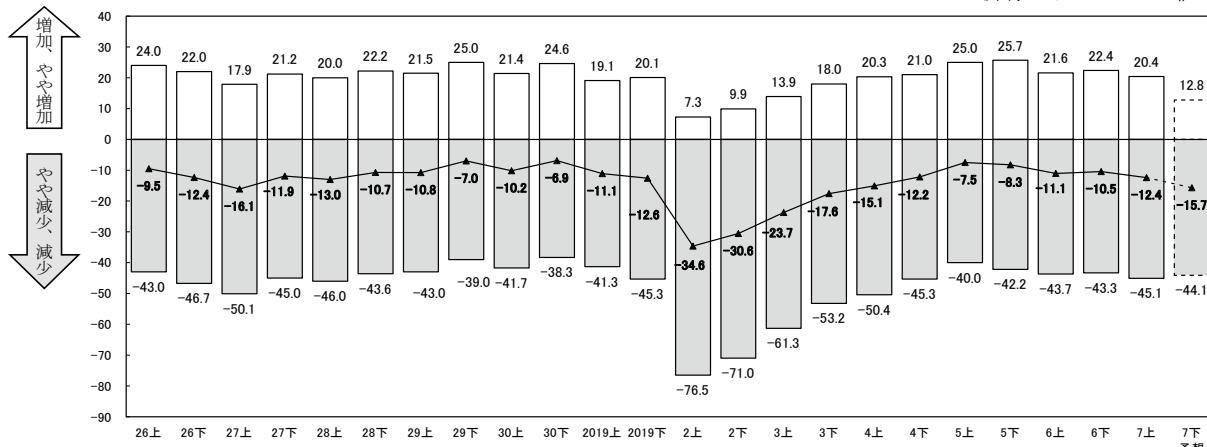


図-4 三重県内の売上状況の推移と来期の見通し

・棒グラフは構成比 (%)
・折線グラフはBSI値



3 利益状況（表－3、図－5参照）

全産業の利益DIは、今期▲16.3と前期▲30.5に比べ、14.2ポイントの改善となった。小規模企業では、今期▲23.8と前期▲28.0と比べ、4.2ポイントの改善となった。

業種別では、製造業・卸売業・小売業・サービス業で改善、建設業で悪化となった。小規模企業では製造業・小売業で改善、建設業・卸売業・サービス業で悪化となった。

表－3 利益状況

	利益DI			今期と前期との比較 (③-②)
	前々期 ①令和6年 1月～6月	前期 ②令和6年 7月～12月	今期 ③令和7年 1月～6月	
	▲ 25.8	▲ 30.5	▲ 16.3	
全 産 業	▲ 25.8	▲ 28.0	▲ 23.8	4.2
製 造 業	▲ 42.6	▲ 40.8	▲ 5.3	35.5
	▲ 63.7	▲ 47.6	▲ 18.3	29.3
建 設 業	▲ 13.9	▲ 8.7	▲ 17.0	▲ 8.3
	▲ 9.1	▲ 4.4	▲ 25.6	▲ 21.2
卸 売 業	▲ 17.4	▲ 33.3	▲ 20.0	13.3
	▲ 9.1	▲ 55.5	▲ 60.0	▲ 4.5
小 売 業	▲ 41.7	▲ 37.9	▲ 27.2	10.7
※飲食業含む	▲ 40.0	▲ 42.3	▲ 28.5	13.8
サービス業	▲ 20.4	▲ 34.4	▲ 16.7	17.7
	▲ 24.9	▲ 15.3	▲ 26.1	▲ 10.8

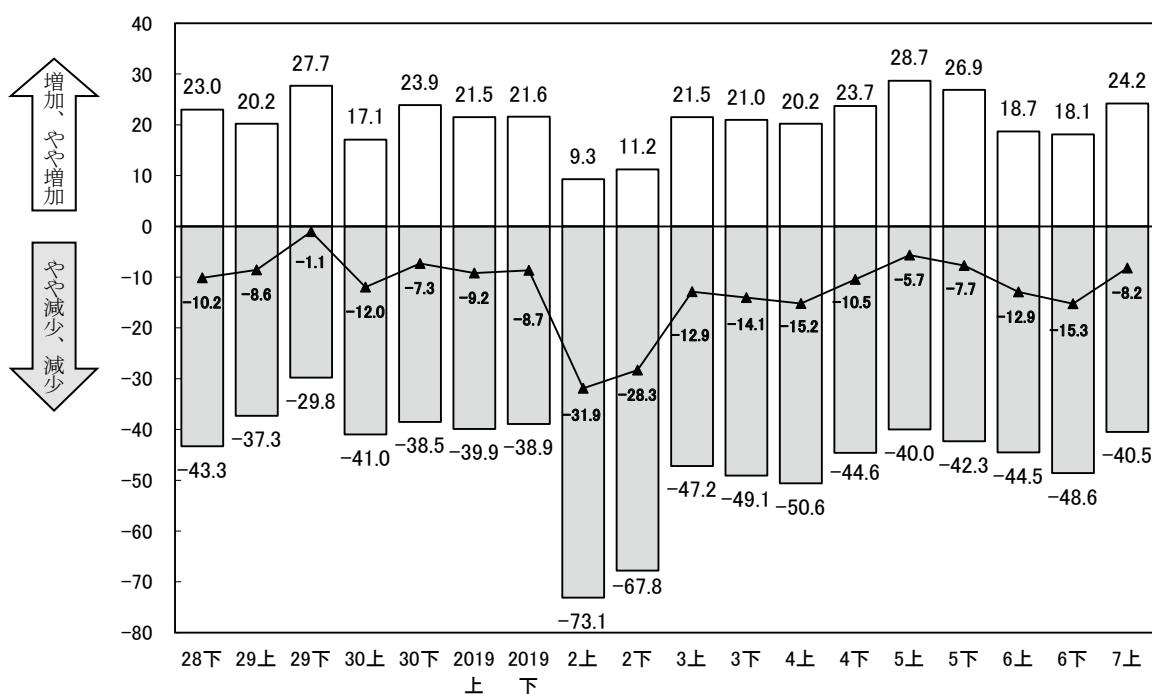
DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

▲はマイナス表示

※下段の値は小規模企業

図－5 利益状況の推移

・棒グラフは構成比（%）
・折線グラフはBSI値



4 販売条件と仕入条件

(1) 販売条件（表－4、図－6参照）

全産業の販売条件DIは、今期▲12.1と前期▲10.2に比べ、1.9ポイントの悪化となった。小規模企業では、今期▲20.2と前期▲11.1と比べ、9.1ポイントの悪化となった。

業種別では、サービス業で改善、卸売業でほぼ横ばい、製造業・建設業・小売業で悪化となっている。小規模企業では、製造業でほぼ横ばい、それ以外の業種で悪化となっている。

表－4 販売条件

	販売条件DI			今期と前期との比較 (③-②)
	前々期 ①令和6年 1月～6月	前期 ②令和6年 7月～12月	今期 ③令和7年 1月～6月	
全産業	▲8.3 ▲12.2	▲10.2 ▲11.1	▲12.1 ▲20.2	▲1.9 ▲9.1
製造業	▲19.1 ▲36.4	▲2.2 ▲4.8	▲7.9 ▲4.5	▲5.7 0.3
建設業	▲1.8 2.2	▲6.9 ▲8.8	▲15.1 ▲11.7	▲8.2 ▲2.9
卸売業	4.4 9.1	▲14.3 ▲22.2	▲13.4 ▲60.0	0.9 ▲37.8
小売業	▲16.7 ▲15.0	▲11.1 ▲19.3	▲30.3 ▲47.6	▲19.2 ▲28.3
サービス業	▲11.8 ▲25.0	▲23.5 ▲18.2	▲7.5 ▲34.8	16.0 ▲16.6

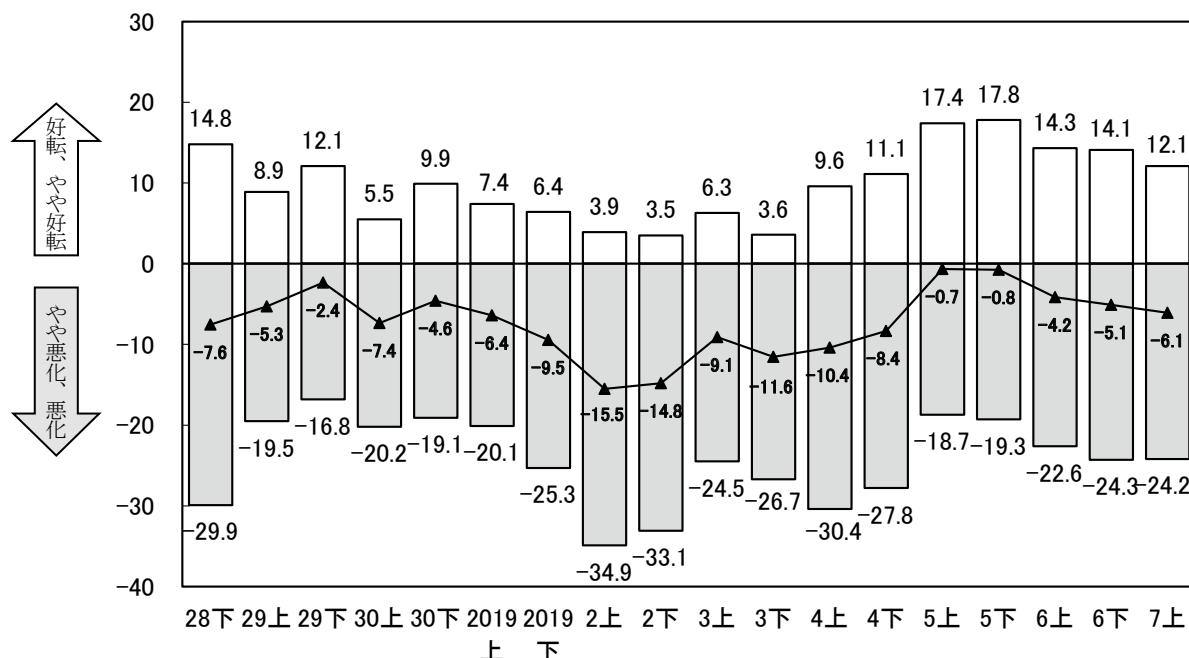
DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

▲はマイナス表示

※下段の値は小規模企業

図－6 販売条件の推移

- ・棒グラフは構成比（%）
- ・折線グラフはBSI値



(2) 仕入条件（表－5、図－7参照）

全産業の仕入条件DIは、今期▲43.7と前期▲41.1に比べ、2.6ポイントの悪化となった。業種別では、製造業で改善、卸売業とサービス業でほぼ横ばい、建設業・小売業で悪化となった。小規模企業では、卸売業のみ改善となり、それ以外の業種で悪化となっている。

表－5 仕入条件

	仕入条件DI			今期と前期との比較 (③－②)
	前々期 ①令和6年 1月～6月	前期 ②令和6年 7月～12月	今期 ③令和7年 1月～6月	
全産業	▲ 45.6 ▲ 45.0	▲ 41.1 ▲ 37.3	▲ 43.7 ▲ 47.1	▲ 2.6 ▲ 9.8
製造業	▲ 53.2 ▲ 45.5	▲ 45.5 ▲ 38.1	▲ 36.9 ▲ 45.5	8.6 ▲ 7.4
建設業	▲ 40.3 ▲ 43.1	▲ 36.3 ▲ 41.3	▲ 39.6 ▲ 44.2	▲ 3.3 ▲ 2.9
卸売業	▲ 47.8 ▲ 45.5	▲ 47.6 ▲ 44.5	▲ 46.7 ▲ 20.0	0.9 24.5
小売業 ※飲食業含む	▲ 49.9 ▲ 50.0	▲ 55.5 ▲ 50.1	▲ 78.8 ▲ 80.9	▲ 23.3 ▲ 30.8
サービス業	▲ 47.5 ▲ 54.2	▲ 32.8 ▲ 24.3	▲ 33.3 ▲ 39.1	▲ 0.5 ▲ 14.8

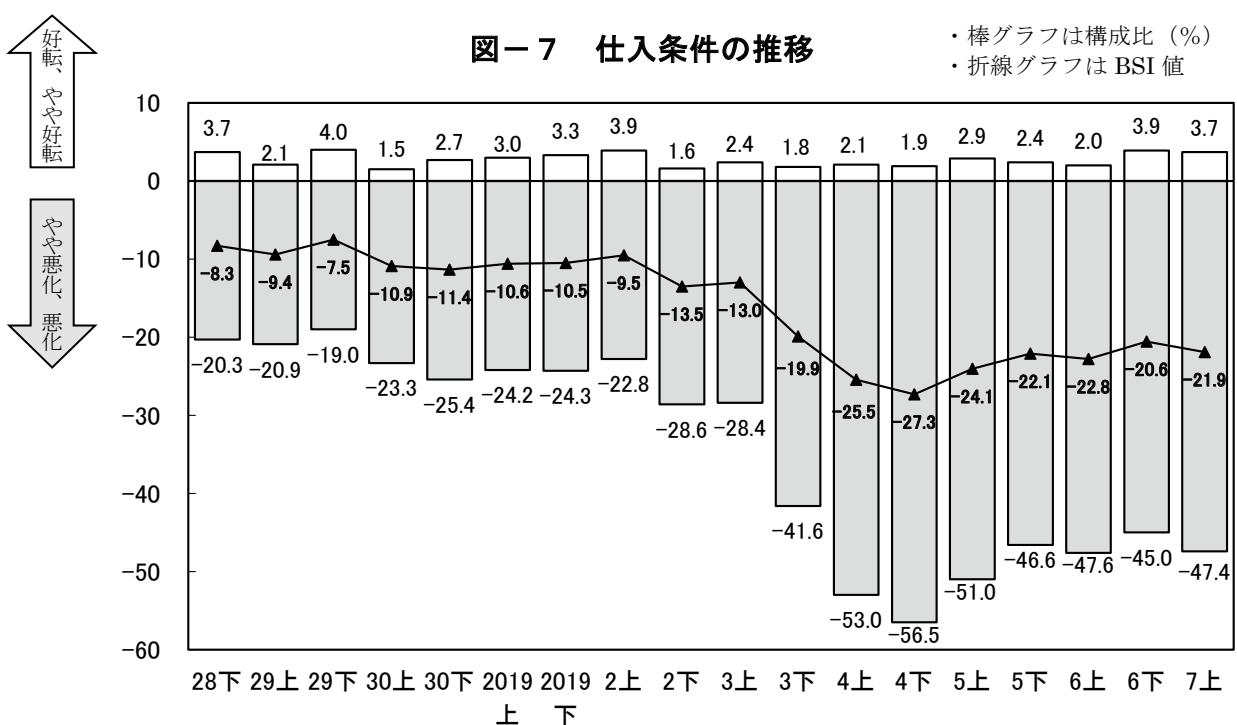
DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

▲はマイナス表示

※下段の値は小規模企業

図－7 仕入条件の推移

- ・棒グラフは構成比 (%)
- ・折線グラフは BSI 値



5 設備投資（表－6 参照）

（1）今期の動向

今期に設備投資を実施した企業は、23.3%（215企業中50企業）と前期の26.7%（255企業中68企業）と比べ、3.4ポイント減少する結果となった。

業種別では、製造業で増加、卸売業・サービス業ではほぼ横ばい、建設業・小売業で減少となった。小規模企業では、製造業で増加、卸売業はほぼ横ばい、建設業・小売業・サービス業で減少となっている。

（2）来期の計画

全産業中、来期に設備投資を予定している企業は、26.0%と今期実績値23.3%と比べ、2.7ポイントの増加となった。

業種別では、今期実績値と比べ、卸売業・小売業・サービス業で増加、製造業・建設業で減少の見通しとなっている。

表－6 設備投資実施企業割合

	設備投資実施企業割合			今期と前期 との比較 (③-②)	設備投資の予 定	今期と来期予 定との比較 (④-③)
	前々期 ①令和6年 1月～6月	前期 ②令和6年 7月～12月	今期 ③令和7年 1月～6月			
全 産 業	27.4	26.7	23.3	▲ 3.4	26.0	2.7
	15.0	17.0	14.2	▲ 2.8	13.4	▲ 0.8
製 造 業	31.9	40.9	50.0	9.1	44.7	▲ 5.3
	9.1	23.8	31.8	8.0	22.7	▲ 9.1
建 設 業	19.3	22.4	11.3	▲ 11.1	7.5	▲ 3.8
	15.9	15.2	9.3	▲ 5.9	4.7	▲ 4.6
卸 売 業	13.0	33.3	33.3	0.0	40.0	6.7
	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小 売 業 ※飲食業含む	38.9	24.4	12.1	▲ 12.3	27.3	15.2
	20.0	11.5	9.5	▲ 2.0	19.0	9.5
サービス業	23.7	21.9	22.2	0.3	27.8	5.6
	8.3	24.2	13.0	▲ 11.2	17.4	4.4

▲はマイナス表示

※下段の値は小規模企業

6 資金繰りの動向（表－7、図－8 参照）

（1）今期の動向

全産業の資金繰りD Iは、今期▲11.6と前期▲13.3に比べ、1.7ポイントの改善となった。業種別では、建設業・卸売業・サービス業で改善、製造業・小売業で悪化となった。小規模企業では、建設業・卸売業・サービス業で改善、製造業・小売業で悪化となっている。

(2) 来期の見通し

全産業の見通しDIは、▲17.2と今期の資金繰りDI▲11.6に比べ、5.6ポイントの悪化の見通しとなった。

業種別では、製造業・卸売業でほぼ横ばい、建設業・小売業・サービス業で悪化の見通しとなつた。小規模企業では、製造業でほぼ横ばい、それ以外の業種で悪化の見通しとなっている。

表-7 資金繰り

	資金繰りDI			今期と前期 との比較 (③-②)	見通しDI 来期 ④令和7年 7月～12月	今期と来期の 見通しとの比 較 (④-③)
	前々期 ①令和6年 1月～6月	前期 ②令和6年 7月～12月	今期 ③令和7年 1月～6月			
全 産 業	▲ 10.3 ▲ 12.9	▲ 13.3 ▲ 17.0	▲ 11.6 ▲ 16.4	1.7 0.6	▲ 17.2 ▲ 24.6	▲ 5.6 ▲ 8.2
製 造 業	▲ 19.1 ▲ 36.4	▲ 15.9 ▲ 23.7	▲ 18.5 ▲ 27.3	▲ 2.6 ▲ 3.6	▲ 18.4 ▲ 27.3	0.1 0.0
建 設 業	▲ 8.8 ▲ 6.8	▲ 13.8 ▲ 19.6	▲ 11.3 ▲ 16.3	2.5 3.3	▲ 22.6 ▲ 27.9	▲ 11.3 ▲ 11.6
卸 売 業	8.7 18.2	▲ 9.5 ▲ 22.2	0.0 0.0	9.5 22.2	0.0 ▲ 20.0	0.0 ▲ 20.0
小 売 業 ※飲食業含む	▲ 13.8 ▲ 20.0	▲ 15.6 ▲ 15.3	▲ 24.3 ▲ 28.5	▲ 8.7 ▲ 13.2	▲ 36.3 ▲ 42.9	▲ 12.0 ▲ 14.4
サービス業	▲ 17.0 ▲ 33.3	▲ 14.1 ▲ 18.2	▲ 3.7 ▲ 4.4	10.4 13.8	▲ 7.5 ▲ 17.4	▲ 3.8 ▲ 13.0

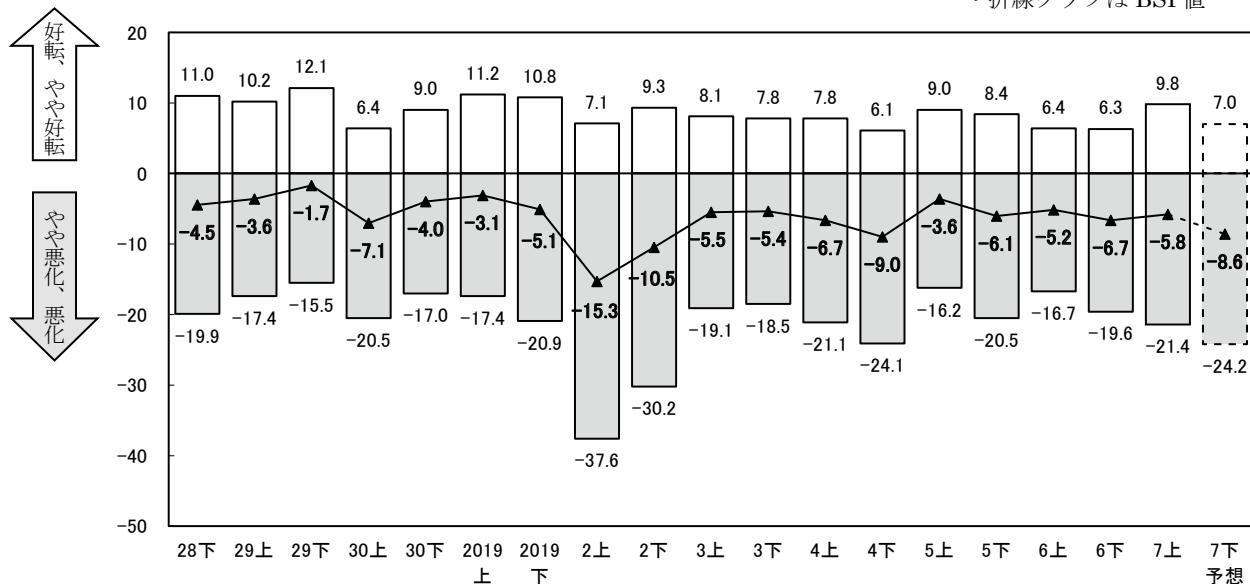
DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

▲はマイナス表示

※下段の値は小規模企業

図-8 資金繰りの動向と来期の見通し

- 棒グラフは構成比 (%)
- 折線グラフはBSI値



7 借入の動向（表－8参照）

全産業の借入難易度DIは、今期10.6と前期3.5に比べ、7.1ポイントの改善となった。小規模企業では、今期▲4.0と前期▲6.7と比べ、2.7ポイントの改善となった。

業種別では、全ての業種で改善となった。小規模企業では、製造業・建設業・小売業で改善、卸売業・サービス業で悪化となった。

表－8 借入の難易度

	借入難易度DI			今期と前期との比較 (③－②)
	前々期 ①令和6年 1月～6月	前期 ②令和6年 7月～12月	今期 ③令和7年 1月～6月	
全産業	15.1 4.5	3.5 ▲ 6.7	10.6 ▲ 4.0	7.1 2.7
製造業	0.0 ▲ 30.0	4.2 ▲ 11.1	15.0 0.0	10.8 11.1
建設業	23.3 10.0	0.0 ▲ 10.5	8.7 ▲ 6.3	8.7 4.2
卸売業	36.4 100.0	18.2 25.0	20.0 0.0	1.8 ▲ 25.0
小売業 ※飲食業含む	6.2 0.0	4.5 ▲ 12.5	15.4 0.0	10.9 12.5
サービス業	16.7 0.0	0.0 ▲ 7.1	5.6 ▲ 14.3	5.6 ▲ 7.2

DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

▲はマイナス表示

※下段の値は小規模企業

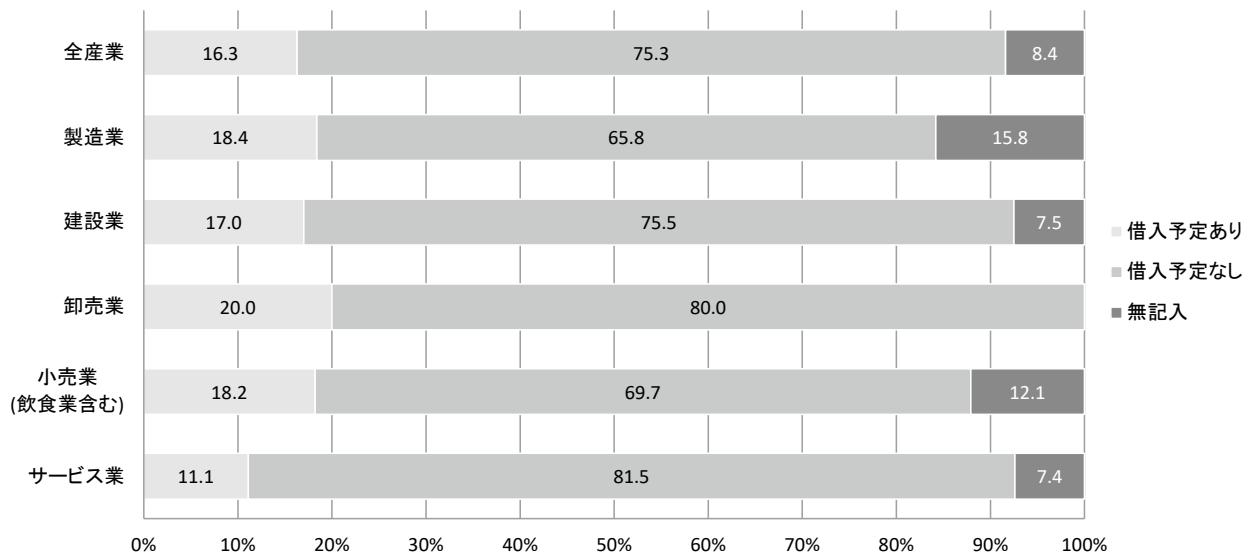
8 借入予定、借入希望先、借入資金の使途予定（図－9参照）

全産業中、来期に借入を予定している企業は、215企業中35企業で全体の16.3%と前期15.3%（255企業中39企業）と比べ、1.0ポイントの増加となった。

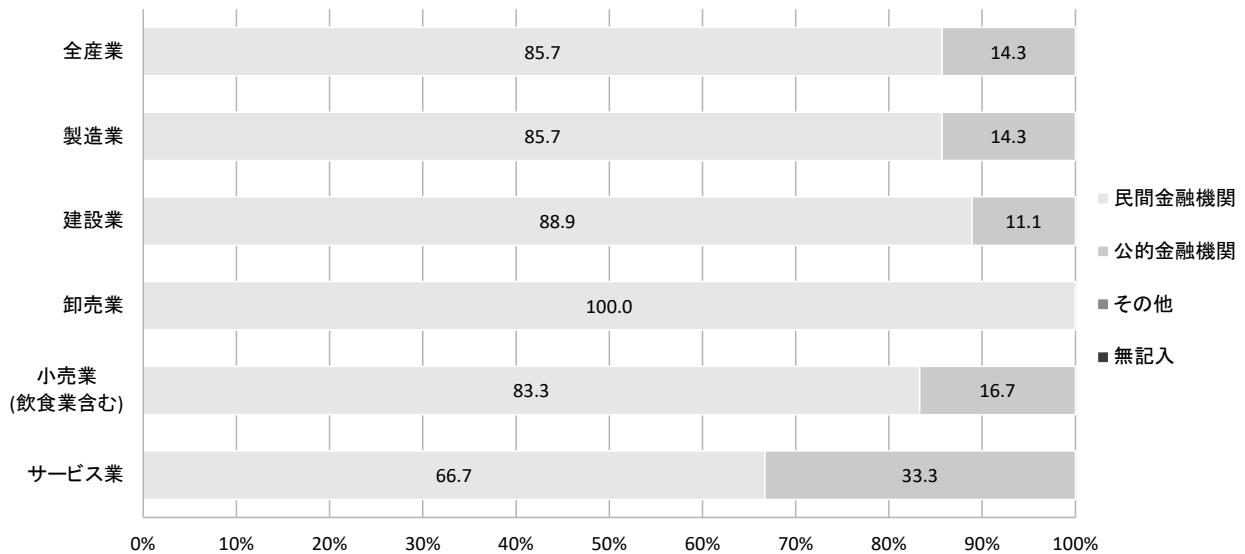
借入希望先では、全産業の民間金融機関希望は85.7%と前期74.4%と比べ11.3ポイントの増加、公的金融機関は14.3%と前期17.9%と比べ、3.6ポイントの減少となった。

借入資金の使途予定では、運転資金68.6%（前期66.7%）、設備資金28.6%（前期28.2%）となっている。

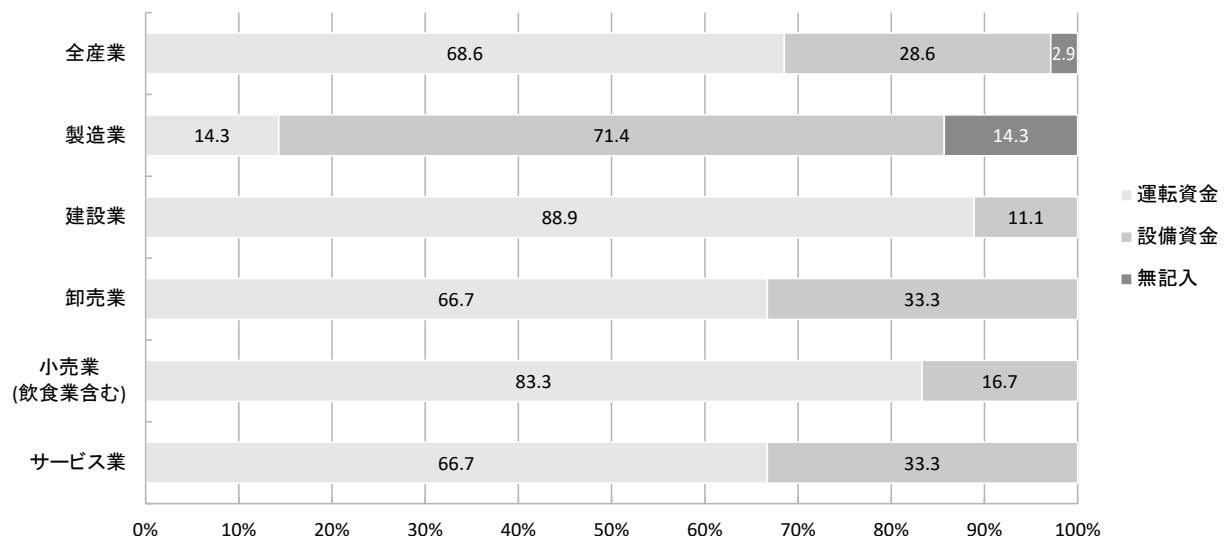
図－9－① 借入予定



図－9－② 借入希望先



図－9－③ 借入資金の使途予定



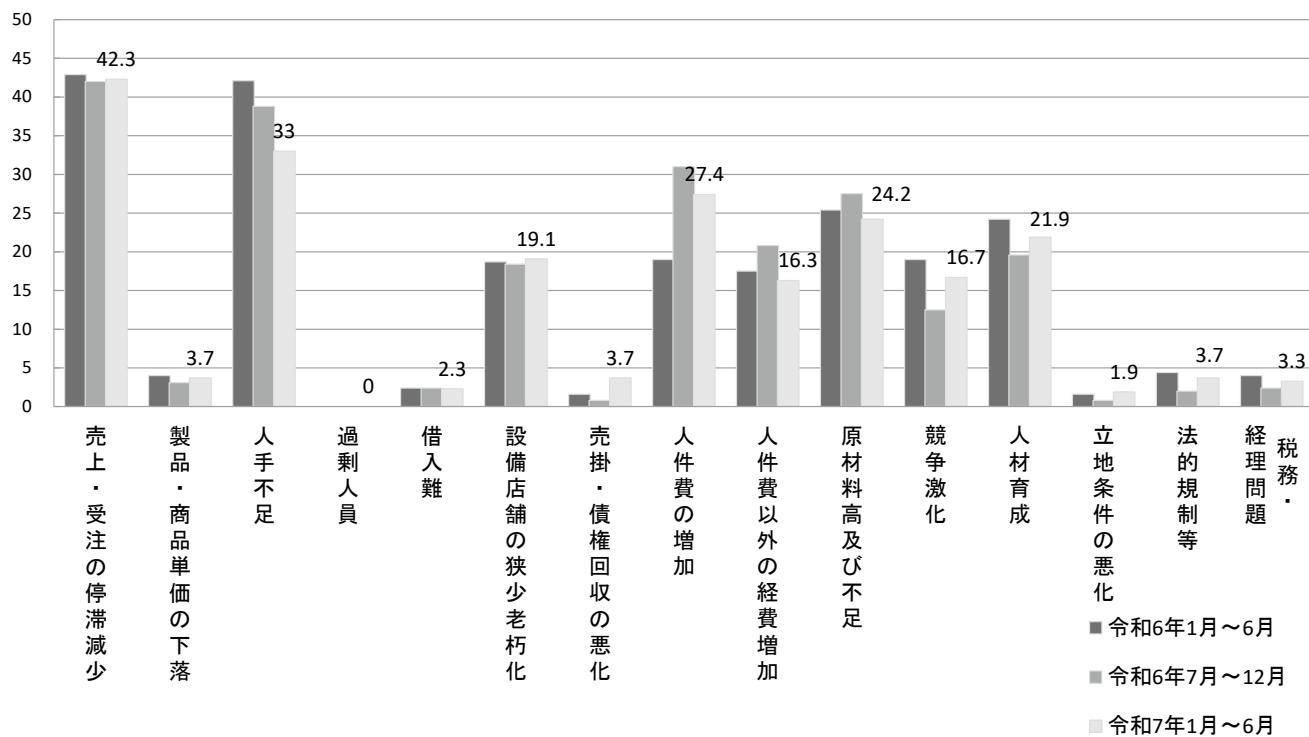
9 経営上の問題点（3項目まで選択）（図-10、表-9参照）

全産業の経営上の問題点は、「売上・受注の停滞減少」が最も多く42.3%（前期42.0%）、次いで「人手不足」33.0%（前期38.8%）、「人件費の増加」27.4%（前期31.0%）と、前期同様の順位となった。

業種別においては、製造業・建設業・卸売業・小売業では「売上・受注の停滞減少」、サービス業では同率で「人手不足」と「人件費の増加」が最も多くなった。前期同様「売上・受注の停滞減少」は5業種すべてで上位となり、業種を問わず地域の産業全体の課題といえる。「人手不足」については、前期と比べて減少したものの依然として高い割合で推移している。

図-10 経営上の問題点（全産業）

（単位：%）



表－9 経営上の問題点

業種	順位	前期 令和6年7月～12月期			今期 令和7年1月～6月期		
		1位	2位	3位	1位	2位	3位
全産業		売上・受注の停滞減少 42.0	人手不足 38.8	人件費の増加 31.0	売上・受注の停滞減少 42.3	人手不足 33.0	人件費の増加 27.4
業種別	製造業	売上・受注の停滞減少 52.3	原材料高及び不足 人件費の増加 34.1	人件費以外の経費増加 29.5	売上・受注の停滞減少 50.0	人件費の増加 42.1	設備店舗の狭小老朽化 (前回7位) 34.2
	建設業	人手不足 58.6	売上・受注の停滞減少 原材料高及び不足 43.1	人件費の増加 25.9	売上・受注の停滞減少 52.8	人手不足 47.2	原材料高及び不足 35.8
	卸売業	売上・受注の停滞減少 人手不足 38.1	原材料高及び不足 人件費以外の経費増加 28.6	人材育成 人件費の増加 23.8	売上・受注の停滞減少 60.0	人材育成 46.7	人手不足 33.3
	小売業 ※飲食業含む	売上・受注の停滞減少 51.1	原材料高及び不足 設備店舗の狭小老朽化 人件費の増加 26.7	人手不足 人件費以外の経費増加 20.0	売上・受注の停滞減少 39.4	原材料高及び不足 33.3	設備店舗の狭小老朽化 30.3
	サービス業	人手不足 40.6	売上・受注の停滞減少 35.9	人件費の増加 31.3	人手不足 人件費の増加 33.3	売上・受注の停滞減少 人材育成 (前回5位) 29.6	競争激化 (前回7位)

(単位 : %)

津地区の景況調査 No.8 6

令和7年9月発行

- 編集 津商工会議所中小企業相談所
- 発行 津商工会議所
(本所)
〒514-0033 津市丸之内29-14
TEL 059-228-9141 FAX 059-228-7317
(久居支所)
〒514-1135 津市久居本町1347-1
TEL 059-255-2343 FAX 059-256-3665



GREEN PRINTING JFPI

P-B10216

この印刷製品は、環境に配慮した
資材と工場で製造されています。